

Longevityを実現するための 咬合再構成の考え方

うえだ歯科医院長

上田 秀朗 先生

2016

10.2回

定員
200名

時間 10:00~16:30

会場 日本薬学会 長井記念館

渋谷区渋谷2-12-15 Tel03-3406-3326

主催 奥羽大学歯学部同窓会

会費 同窓会会員事前申込 ……8,000円
一般歯科医師事前申込 ……10,000円
技工士・衛生士・助手 ……5,000円

事前
申込期限 | 9/23(金)

【9/24以降】

同窓会会員 ……10,000円
一般歯科医師 ……12,000円

profile

1958年 北九州市生まれ
1983年 福岡歯科大学卒業
1983年 福岡歯科大学口腔外科第二講座研究生
1987年 北九州市小倉南区にて開業
1997年 学位取得
2007年 北九州市小倉北区移転
2010年 福岡歯科大学総合歯科学臨床教授就任
2014年 USC Dentistry Adjunct Faculty 就任
日本顎咬合学会・指導医・次期理事長
JACD 前会長
Osseointegration Study Club of Japan 元会長
上田 塾・主宰

(抄録)

咬合再構成するうえで、欠損補綴に先立って歯列不正や歯周病等の問題を解決しなければいけないケースは多い。また、臨床において一見咬合の問題がなさそうに見えても、フェイスボウトランスファーを採得し精査してみると、咬合平面の乱れが診断されるなど、歯周環境のみならず、咬合の観点からも環境を整備しておく必要のある症例は少なくない。咬合の安定における最も重要な要素は、まず適正な下顎位の下で咬合平面を是正し、左右シンメトリックな歯列を構築することであり、またそうすることで Longevity といわれる、長期に安定した咬合関係を維持出来ると考える。さらに態癥や中枢系からのストレスプレーカーであるパラファンクションなどの顎口腔系に加わる非機能的な力を可能な限り取り除くことも必要となる。実際、患者が顎関節の痛み等の臨床症状を認識していないとしても、顎関節のダメージを受けている症例が存在することも事実であり、多くの場合「咬合」というリスクが潜んでいる。今回は咬合の安定という大きな Longevity の幹をいかに太くしっかりとしたものにするか、その着眼点について説明していきたい。

申込方法

申込書にご記入の上FAXでお申込後下記口座までお振込み下さい。ご入金確認後登録完了となり、振込明細票を持って領収証とさせていただきます。講演会終了後、懇親会を予定しております。懇親会ご希望の方は合わせてお申込み下さい。(懇親会費 6,000円)

振込先:みずほ銀行郡山支店 普通口座 8030627 有限会社オーウデント 卒後研修会事務局

〒963-8611 郡山市富田町字三角堂31-1奥羽大学歯学部同窓会事務局TEL 024-939-0530 FAX 024-935-7420

予告 第20回 2017年7月2日(日)講師: 清水藤太先生(ロサンゼルスにてエンド専門医として開業・UCLAの講師) 場所:東京

キリトリ

第18回 奥羽大学歯学部同窓会卒後研修セミナー FAX024-935-7420

(フリガナ) ご氏名		<input type="checkbox"/> 同窓会会員 (期卒)	<input type="checkbox"/> 技工士・衛生士・助手
		<input type="checkbox"/> 一般歯科医師	<input type="checkbox"/> 学生
		<input type="checkbox"/> 奥羽大学大学院生・研修医・病院助手	<input type="checkbox"/> 懇親会に参加する
ご住所	〒	医院名()	
TEL		FAX	

※参加される先生は、日歯生涯研修カードをお持ち下さい。